



ほんものを たべよう

提出日	6/29	火	水	7/1	木	金
配達日	7/6	火	水	7/7	木	金
翌々週配達日	7/13	火	水	7/14	木	金

2021.7月2週号

Alter Weekly Order Catalogue

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

野菜

医学者が育てる、細胞生命に ふさわしい機能性野菜

安全性にも最大の配慮

認定農業法人 (株) JAPAN BGA 本社

文責 西川 榮郎(安全な食べ物のネットワーク オルター 代表)



認定農業法人 (株) JAPAN BGA 本社の代表 温 中申医学者

人間のための野菜作り

長野県小淵沢市八ヶ岳の麓にある認定農業法人(株) JAPAN BGA 本社の代表、温中申医学者は、医学者でありながら、自ら農業生産法人を創設し、予防医学の立場から人間の細胞にふさわしい機能を持った野菜栽培に取り組んでいます。

その野菜作りは4つのコンセプトからなっています。

- (1) **安心安全** 残留農薬など有害物質がないこと。農薬・化学肥料を使わず、有機栽培しています。JAS有機認証を取得しています。硝酸イオンもチェックをし、EU基準より低い硝酸態窒素含有量を約束されています。放射能検査も測定器を購入して自ら確認、オルターの防衛ライン1 Bq/kg以下を確認しています。種子は自家採種しています。
- (2) **栄養** 人が生きるために欠かせない栄養機能。積極的に栄養分析も行っています。
- (3) **生体機能性** 免疫、内分泌、神経などの生理機能を高める成分であるフィトケミカル(病気予防、美容とアンチエイジング)に注目。
- (4) **おいしさ、味・香り**

隠れた飢餓・満腹型の栄養失調

2005年からWHO(世界保健機関)、国連WFP(国連世界食糧計画)は現代社会の新たな栄養失調を指摘しました。すなわち、カロリーは十分で、お腹いっぱいになっても、人間の生命活動を維持するのに欠かせない微量ミネラル群、ビタミン群、多糖類などの生体調節に関する健康機能性物質などが欠乏する栄養失調です。

このような栄養失調には飢餓感がありませんので、「隠れた飢餓」と呼ばれました。

幼少期の「隠れた飢餓」は、その子どもが一生にわたって障がいや背負っていくことになりかねません。成

人後、感染症、生活習慣病にかかりやすくなり、身体および精神の発達を妨げられ、労働生産性も低下します。この「隠れた飢餓」は先進国、発展途上国に関係なく、現在、全世界の20億人がこの問題を抱えていると言われています。



多様なミネラル、ビタミン、フィトケミカルに注目

人体の構成と生命活動を維持しているミネラル群は地殻の100種以上のミネラル群の特徴とほとんど一致しています。全てのミネラルは体内で合成できないので、野菜など食べものからしか摂取できません。

しかし、農薬、化学肥料に頼る一般の慣行栽培では、このような多様なミネラル群および微生物群が作り出す活性生理物質は失われてしまっています。すなわち、現代の一般的な農業では「隠れた飢餓」を解決することができなくなっているのです。

温医学者はこれらミネラル群、ビタミン群、フィトケミカル群に注目、細胞生命にとって重要な機能性栄養群、その前駆物質に着目し、病気予防、食事療法、美容とアン

チエイジングに役立つ健全な野菜栽培を実現しました。その野菜の栄養成分や抗酸化力は様々な分析を行い実証されています。

元はスポーツ医学の医師

温医学者は北京生まれです。中学生のとき、文化大革命のため、「下放」(地方へ行かされる)させられ、強制的再教育で「農業」と出会いました。その頃、チベット仏教や少林寺とも出会いました。

大学や大学院では医学部でスポーツ医学を学び、やがてオリンピック選手を強化するクリニックを開設しました。

37歳から5年間、日本の筑波大学から招聘(しょうへい)を受け、運動生理学と予防医学の研究から、生活習慣病の予防と治療を、正しい食生活と食事療法でできることを解明しました。

食を正すには、農から正すしかない

しかし、食や農の現場が極めて深刻化していることにも気づき、とくに子どもたちの尿の残留農薬の汚染が高いことに気づきました。それを解決できるはずの食材の品質と本来あるべき野菜や果物の機能性栄養素が失われ、「隠れた飢餓」が深刻になっていることにも気づきました。その現象は農業技術に左右されており、とくに土壌生態系に直接関連していることを痛感しました。生態系、土壌のミネラルバランスが崩れている今の農業は、植物の生長には目を向けているが、人間のためには何も考えられてはいない!

農食健一体化システム

それ以来、現代農業による土壌生態系の破壊と栽培栄養管理の歪みを正すべく、東洋漢方医学を含めた予防医学の知見と原理を現代農学と融合させ、自然の摂理に沿い、土壌生態系修復、植物細胞と人体細胞に共通している細胞分子栄養学による農食健一体化栽培管理技術を開発してきました。人間のいのちのための食べもの作りには、この農食健一体化システムが必要と考え、それを実践するために農業生産法人BGA(パイオダイナミックファーム)を自ら立ち上げられました。

「わが子に食べさせたくないものは作らない!」それが経営の理念です。

栽培土壌を太古の時代の最高健全化した土壌に近いものにするという温医学者は、以下の3大多様化を農業技術の根拠としています。

- (1) 土壌の「光反応」の多様化 生命は太陽、月、星に影響を受けている。
- (2) 土壌微生物群の多様化 共棲微生物の活用。
- (3) 土壌ミネラル群の多様化 中国伝統の薬石を活用。

認定農業法人 (株) JAPAN BGA 本社の 機能性野菜 ★★★

●栽培品目

ミニトマト他 今後オルター向けに品目を増やしていただく予定です。

●防除

雷の原理を使った物理防除を行い、農薬を使わない。

●肥料

BGAソイルコンディショナー
自社開発特殊肥料。土壌の光反応の多様化、土壌微生物群の多様化、土壌ミネラル群の多様化にする技術で土壌を修復する資材。

〈原材料〉トウモロコシの芯、草木灰、燐炭、パーライト、バーミキュライト、頁岩風化物
〈液体肥料〉SUNROX 農林大臣登録番号 生90732号。5種類(国産3種類、中国産2種類)の薬石から即吸収型イオン化微量ミネラル群。人体と植物に共通する酵素群、微量栄養素群(ミネラル群、ビタミン群、抗酸化など健康機能性栄養成分の前駆物質)
〈自社堆肥〉もみから、米ぬか、大豆、草、野菜残渣、魚残渣など
海水カリ(有機適合資材)
サンゴ粉(有機適合資材)
草発酵液